

MRI 検査造影剤使用の説明書・同意書

*造影検査をされる方は、検査前の3時間は、食事を抜いて下さい。

1. MRI 造影剤とは

MRI 検査では必要に応じて造影剤を使用する場合があります。造影剤を注射することによって、より小さな病変が見つかったり、病変の性状が詳しくわかります。使用する造影剤は、ガドリニウム造影剤と呼ばれるものが代表的です。これは安全性の高い薬ですが、他の薬剤と同様に副作用を完全に回避する事はできません。

2. 造影剤の副作用

副作用の症状には次のようなものがあります。

☆ 軽い副作用；かゆみ、発赤、吐気、嘔吐、くしゃみ、頭痛等。基本的に治療は不必要です。

頻度は約 0.4%以下（1,000 人につき約 4 人程度）

☆ 重い副作用；

けいれん、意識消失、血圧低下、呼吸困難等。原則的には治療が必要です。

頻度は約 0.0005～0.0002%（20 万～45 万人に 1 人程度）

腎性全身性線維症(頻度不明)

重篤な腎機能障害がある患者へのガドリニウム造影剤使用に関連して、皮膚の硬化や四肢関節の拘縮などを来し、活動性を著しく低下させる病態として報告があります。

現時点では有効な治療法はなく、死亡例も報告されています。

病状・体質によっては 0.0001%(100 万人に 1 人)死亡する場合があります。

3. 造影剤の注射方法

造影剤を注射する方法には、手で注射器を押して入れる方法と機械的に注射する方法があります。静脈には個人差があり、造影剤が血管外に漏れやすい体質の方もおられます。造影剤漏れの頻度は約 0.3～0.9%（330 人～110 人に 1 人）です。

造影剤は、多くの場合は時間とともに吸収されますが、漏れた量が多い場合に、追加処置が必要となる場合があります。

4. 造影剤使用に注意が必要な方

以下の方は造影剤使用により重篤な副作用が生じる可能性が、その他の方より高くなることが知られています。該当される方は必ず主治医にお知らせの上、検査の可否につきご相談下さい。

- これまでに MRI 造影剤を用いてアレルギー症状が出た方。
- 気管支喘息の既往がある方。

☆ その他、不明な点がありましたら、主治医にご相談下さい。

造影 MRI 検査同意書

造影 MRI 検査を適切に行うために、以下の質問にお答え下さい。

1. あなたは、次のようなアレルギー性の病気にかかったことがありますか？

ある場合はその症状、疾患を○で囲んでください。

ない ある

気管支ぜん息、薬物過敏症、花粉症、その他 ()

2. 今までに MRI 用造影剤を使った検査をしたことがありますか？

ない ある

“ある” と答えられた方におたずねいたします。

その検査中、または検査後、何らかの症状(副作用)がでたことがありますか？

ない ある……………**発疹、発赤**、口腔内異常、くしゃみ、
あくび、咳吐気、嘔吐、腹痛、寒気、
意識消失、血圧低下、その他 ()

※過去に、発疹・かゆみが出た方はお申し出下さい。基本的に造影剤を使うことができません。

3. 体重をご記入下さい。造影剤の使用および検査の適正化のために必要です。

体重 _____kg

4. 女性の方へ

現在妊娠の可能性

なし あり わからない

現在授乳されていますか

いいえ はい

6. その他 _____

=====

同意書

京都中部総合医療センター 院長 宛

主治医 _____ 印、

以上の点をふまえて、今回の MRI 検査・造影 MRI 検査に同意します。

_____年 _____月 _____日

患者氏名 _____ 代理人の場合 _____

ご署名の上、検査当日に放射線科受付にご持参ください。

=====

連絡先：京都中部総合医療センター（電話 0771-42-2510(代表)）

スタッフ使用欄

同意書確認者 _____ 造影剤実施者 _____